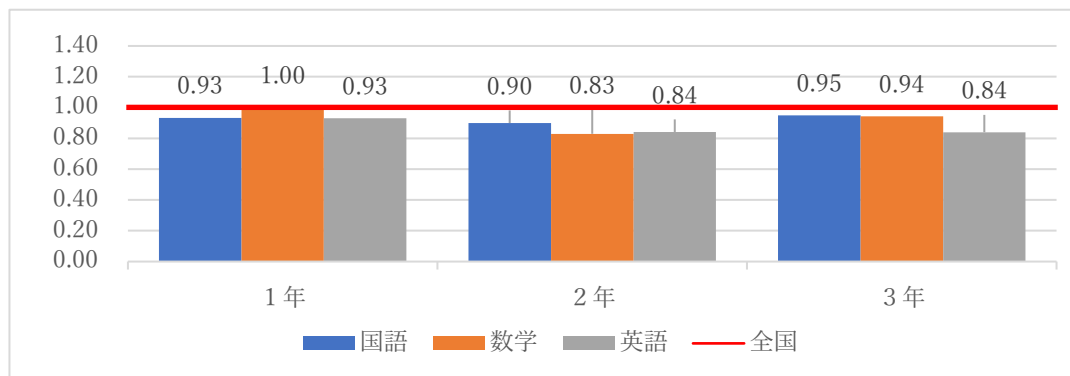


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

第五中学校区 第五中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生は学習到達度調査、中学3年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	1、2年生ともに、「書くこと」領域に課題がある。文章を読んで理解したこと、聞いたことを基に自分の意見を表現できるよう、ディベートも含め言語活動を大切に学習活動を推進する。
	数学	1年生は「数と計算」「変化と関係」領域において全国を上回る結果であった。今後も、基本的な事項をしっかり押さえつつ、少人数授業などで、きめ細かな指導を継続していく。
	英語	簡単な日常会話の英文聞き取りについては、全国と同等の結果であった。「主体的に学習に取り組む態度」をさらに伸ばし、英語で表現する活動を取り入れた授業を展開していく。
全国学力・ 学習状況調査	国語	漢字の書きとりや、古典の原文と現代文との対応については全国正答率を上回ったが、「考えを書く」設問に対して課題がある。言語活動を大切に授業づくりを推進していく。
	数学	領域別正答率では「数と式」が高く、課題は「図形」や「データの活用」であった。選択式の問いは解答率が高いが、証明問題などにも粘り強くあきらめずに取り組む力の育成を図っていく。
	英語	領域別正答率では「読むこと」「書くこと」に課題がある。基礎的な問題を確実に解けるように反復練習で定着させる。
	質問紙	「分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立ち工夫する」が全国値を上回った。「人が困っている時進んで助ける」では88%と高く、道徳を含む全教科で横断的に「考える力」の育成を図る。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

中学校区3校教職員で構成する小中一貫推進部会・8部会を定期的に開催し、各校の取組や進捗状況、学力調査の結果分析や課題の共有等を行っている。さらに、ディベート教育や「考える力」育成に向けた合同研修会・授業公開を開催し、同じ方向性のもと取組を推進している。

【 学校 】

あらゆる教育活動を通して、自己実現に向け「確かな学力」を身につけた生徒の育成に向けた取組を推進している。基礎・基本の知識定着を図る継続した取組や、ICT機器の効果的な活用により、学びに向かう姿勢を向上させる工夫に努める。